

◆二月六日(金)

△昼の部▽ 午前十一時開演

一	長唄	まかしよ	花柳	菊小太郎
二	長唄	外記猿	藤間	絢也
三	清元	山歸り	坂東	楓
四	地歌	八島	山村	若瑞
五	常磐津	独楽	花柳	寿々彦
六	長唄	浅妻船	若柳	杏子
七	長唄	風流船揃	花柳	楽彩
八	清元	玉屋	若見匠	祐助
九	清元	四君子	水木	佑阿
十	長唄	島の千歳	尾上	菊透

△夜の部▽ 午後四時開演

一	清元	保名	若柳	三十郎
二	清元	玉屋	藤間	駒季
三	長唄	島の千歳	花柳	香礼愁
四	清元	山の姥	若柳	弥生
五	清元	梅の春	花柳	奈与染
六	長唄	まかしよ	西川	扇左衛門
七	長唄	島の千歳	坂東	映佐
八	萩江	鐘の岬	藤陰	里燕
九	長唄	外記猿	泉	秀彩霞
十	清元	名寄の寿	花柳	寛七郎

◆二月七日(土)

△昼の部▽ 午前十一時開演

一	清元	傀儡師	藤間	直三
二	長唄	新曲浦島	花柳	徳雛徳
三	長唄	娘道成寺	花柳	寿之真瑠
四	清元	流星	水木	紅耶
五	長唄	まかしよ	花柳	克昂
六	萩江	鐘の岬	藤間	掬美奈
七	清元	北州	花柳	羽玳
八	常磐津	源太	坂東	映司
九	長唄	外記猿	松本	幸凜
十	長唄	伊勢参宮	坂東	真三祥

△夜の部▽ 午後四時開演

一	長唄	八島官女	若柳	豊太郎
二	萩江	鐘の岬	花柳	楽人
三	長唄	新曲浦島	花柳	寿之吉
四	常磐津	屋敷娘	花柳	祐璃
五	清元	子守	西川	勘舞恵
六	義太夫	海女	藤間	蘭翔
七	清元	梅の春	藤間	細翔
八	清元	玉兎	花柳	聖衣暉
九	長唄	まかしよ	藤間	聖衣暉
十	長唄	外記猿	花柳	寿美琴音

◆二月八日(日)

△昼の部▽ 午前十一時開演

一	長唄	新曲浦島	坂東	千代弥
二	清元	梅の春	花柳	寿万籠
三	地歌	茶音頭	株茂都	梅昭野
四	常磐津	松島	藤間	眞白
五	清元	女太夫	花柳	眞白
六	長唄	島の千歳	花柳	眞白
七	長唄	座敷舞道成寺	花柳	眞白
八	地歌	鐘ヶ岬	株茂都	咲弥迦
九	長唄	鷺娘	花柳	萌なか
十	清元	傀儡師	若柳	恵華

△夜の部▽ 午後四時開演

一	清元	六玉川	榎若	仔一郎
二	長唄	手習子	花柳	雅千音
三	清元	傀儡師	藤間	翔央
四	常磐津	屋敷娘	西川	与梨伽
五	長唄	浅妻船	花柳	乃鼓
六	長唄	新曲浦島	藤間	笙三郎
七	清元	青海波	花柳	瑞優萌
八	清元	梅の春	花柳	基はるな
九	長唄	楠公	坂東	はつ花
十	萩江	鐘の岬	藤間	京之助

各流派合同新春舞踊大会

新進の若手舞踊家が日ごろの研鑽の成果を発表するコンクール公演です。古典の日本舞踊を継承、発展させていく人材育成の場として注目されており、優秀者には賞が授与されます。これまでの受賞者は、協会主催「日本舞踊協会公演」や「新作公演」、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」、国立劇場主催公演など、その活躍の場を広げています。

演奏者連名

長唄 一月六日 清元 美寿太夫 一月七日(昼の部) 清元 美治郎 一月七日(夜の部) 常磐津 和佐太夫 一月八日 常磐津 文字蔵

義太夫 竹本 葵太夫 豊澤 長一郎 地歌 富山 清仁 箏曲 米川 敏子

審査員(公社)日本舞踊協会役員、有識者

出場者/50歳までの(公社)日本舞踊協会会員

賞/最優秀賞(1名)、大会賞(若干名)、奨励賞(若干名)、会長賞(大会賞3回受賞者)

受賞者発表/1月17日(火)正午